

広陵町 竹取公園周辺地区 まちづくり基本構想



平成31年4月

目 次

1. 基本構想の 背景と目的

- 1-1 広陵町の地域特徴と竹取公園周辺地区の位置づけ 3、4
- 1-2 竹取公園周辺地区の基本構想の目的 5
- 1-3 基本構想策定の位置づけ 5
- 1-4 重点プロジェクト（第4次広陵町総合計画 後期基本計画より） 6

2. 重点 プロジェクト から見た 竹取公園周辺 地区の現状

- 2-1 町の活力向上 7
- 2-2 歴史ロマンのまちづくり 8
- 2-3 安全・安心、健幸、子育て・教育、快適生活のまちづくり 9、10
- 2-4 利便性の高いまちづくり 11、12

3. 住民ワークショップ等 での検討

- 3-1 住民ワークショップ、庁内検討会での意見 13

4. 竹取公園周辺地区の 課題抽出

- 4-1 竹取公園周辺地区の抱える問題 14
- 4-2 重点プロジェクトから見た竹取公園周辺地区の課題抽出 15

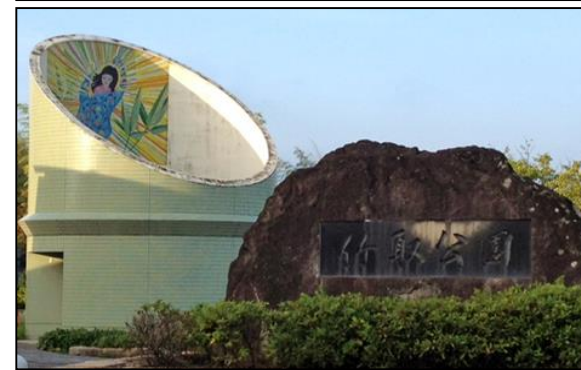
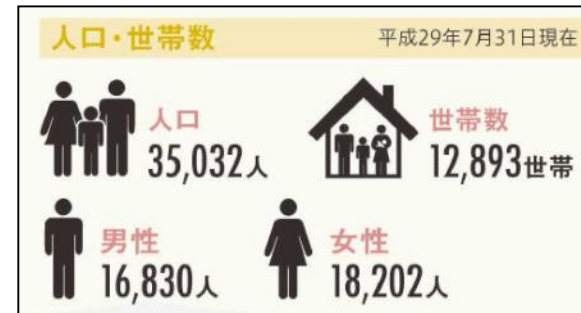
5. 竹取公園周辺地区 まちづくり基本方針

- 5-1 竹取公園周辺地区の目指す姿（コンセプト） 16
- 5-2 重点プロジェクトを踏まえたまちづくりの基本方針と主な取組 17
- 5-3 まちづくり構想図～「公園を核とした賑わいのまちづくり」～ 18

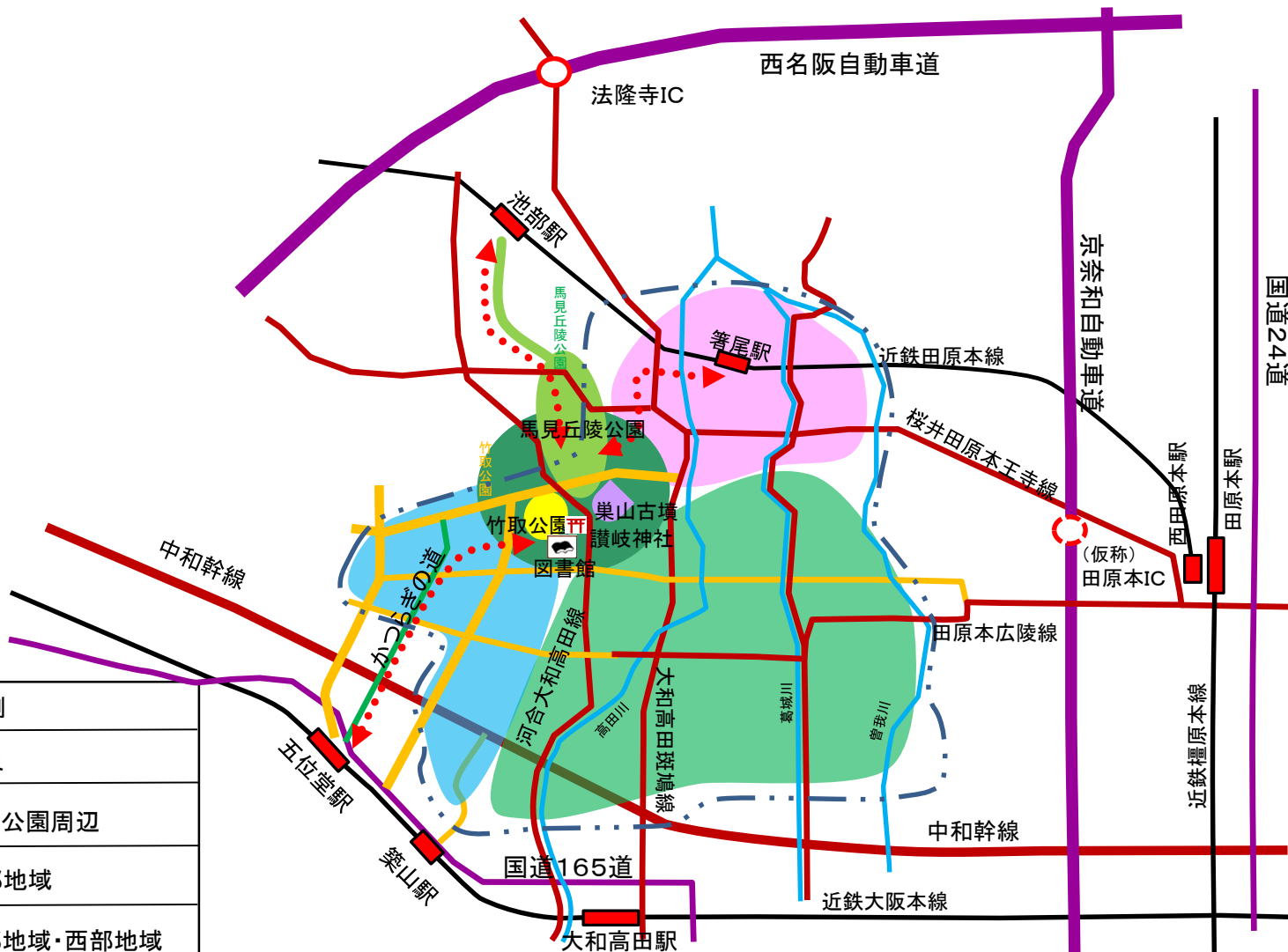
1. 基本構想の背景と目的

■ 1-1 広陵町の地域特性と竹取公園周辺地区の位置づけ

- ◎ 広陵町は、奈良盆地の中西部に位置し、大和川流域の低平地では水田を中心とした緑豊かな田園地帯があり、真美ヶ丘地域は丘陵地で、計画的に開発された良好な住宅地がある。
- ◎ 町の地域特性は、西部・東部地域は農村集落、北部地域は近鉄箸尾駅前や教行寺を中心とした商店街と繊維工場により形成された既成市街地、真美ヶ丘地域は真美ヶ丘ニュータウンと、3つの異なる歴史をもつ地域で構成されている。
- ◎ 竹取公園周辺地区は、3つの地域が交わる位置にあり、各地域住民の交流拠点として位置づけられており、竹取公園の南側に図書館が設置されるとともに、石塚霊園や三吉石塚古墳、給食センターの整備が行われている。
- ◎ 竹取公園に隣接する県営の馬見丘陵公園は、平成24年に全面開園し四季折々のイベント開催により、県内外から年間100万人を越える集客力を持っている。また町では特別史跡である巢山古墳の整備を行っており、町内外の交流集客拠点となっている。



■ 1-1 広陵町の地域特徴と竹取公園周辺地区の位置づけ(図)

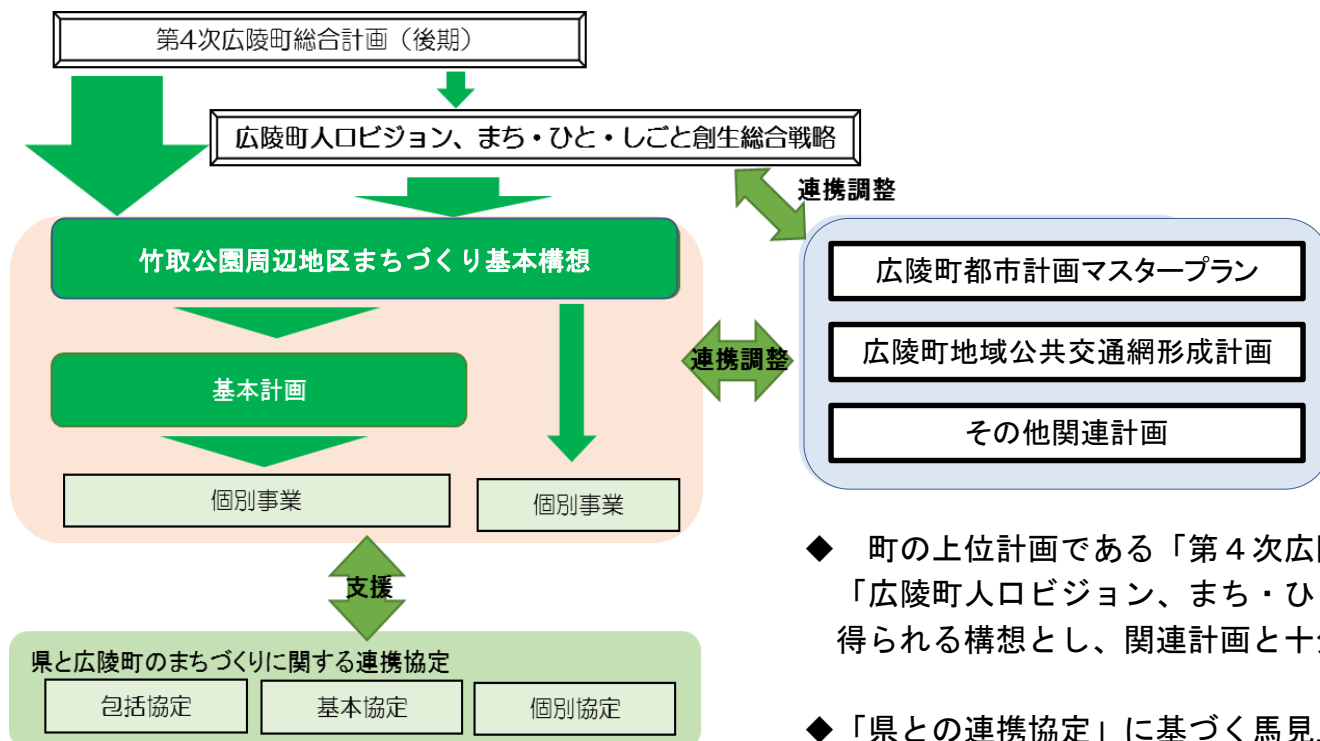


凡 例	
	町界
	竹取公園周辺
	北部地域
	東部地域・西部地域
	真美ヶ丘地域

■ 1-2 竹取公園周辺地区の基本構想の目的

- ◆ 竹取公園周辺地区は、馬見丘陵公園、図書館などの集客施設と巢山古墳を代表とする馬見古墳群、かぐや姫発祥の地である讃岐神社など歴史的文化資源が集積する広陵町唯一の集客交流拠点であることから、県と連携して利用者ニーズを踏まえた整備を進め、広陵町の課題を解決し、住みよい元気なまちづくりに資する賑わい拠点とするための基本構想を策定する。

■ 1-3 基本構想策定の位置づけ



- ◆ 町の上位計画である「第4次広陵町総合計画（後期基本計画）」や「広陵町人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略」に効果が得られる構想とし、関連計画と十分な連携調整を図る。

- ◆ 「県との連携協定」に基づく馬見丘陵公園や竹取公園周辺地区の整備活用など、県事業との連携強化を図り、相乗効果が得られる構想とする。

■1-4 重点プロジェクト(第4次広陵町総合計画 後期基本計画より)

- ◇ 町の活力向上
地域の活力、産業活力、人口の維持・増加による町全体の活力の向上
- ◇ 利便性の高いまちづくり
すべての町民が便利で快適に暮らせるまちづくり
- ◇ 安全・安心のまちづくり
すべての町民が安全に安心して暮らせる災害や事故のないまちづくり
- ◇ 健幸のまちづくり
すべての町民が支え合いながらいきいきと健康で幸せに暮らせるまちづくり
- ◇ 子育て・教育のまちづくり
子どもを生み育てたいと思う人々の希望の実現
- ◇ 快適生活のまちづくり
豊かな自然と共生する快適な生活環境、生活基盤づくり
- ◇ 歴史ロマンのまちづくり
貴重な文化遺産を生かした歴史ロマン漂うまちづくり



2. 重点プロジェクトから見た竹取公園周辺地区の現状

■2-1 町の活力向上

◆ 商業施設

- ・ 多数の来園者があるエリアにも関わらず、カフェやレストラン、物販店舗などが無い。

◆ 広陵町特産品の情報発信

- ・ 来園者に対して、広陵町の特産品である「なすび」や「いちご」、「くつした」等の品質力を広陵ブランドとして情報発信できていない。

◆ 馬見丘陵公園と町道上田部・奥鳥井線の景観

- ・ 馬見丘陵公園外周の樹木が生長繁茂し、隣接する町道上田部・奥鳥井線の通過車両や歩道通行者は、公園内の美しい景観を見ることができず、公園の存在を認識できない状況である。
- ・ 沿道の街路樹である桜は、台風による枝折れ被害などにより樹形の悪化や、伐採後の植樹がされておらず、景観が著しく阻害されている。

◆ 竹取公園周辺施設との連携及び情報発信

- ・ 広陵町発祥のかぐや姫伝説を生かした取り組みやPRが弱い。
- ・ 竹取公園周辺の公共施設（図書館や給食センター等）と連携したおもてなしや町の情報発信の取り組みが弱い。



特産品のいちご・くつした



町道上田部・奥鳥井線



連絡橋からの景色

■2-2 歴史ロマンのまちづくり

◆ 巢山古墳

- ・馬見古墳群で最大級の古墳であり、昭和27年には国の特別史跡に指定されており、広陵町が文化庁の補助事業で整備を進めている重要な歴史観光資源である。
- ・馬見丘陵公園や竹取公園との連携やアクセス確保が進んでいない。

◆ 讃岐神社

- ・「竹取公園」は、「竹取」名を冠して「かぐや姫の公園」を謳っているが、讃岐神社との連絡ルートやモニュメント、案内施設も無く、情報発信・連携ができていない。

◆ 三吉石塚古墳、新木山古墳

- ・県指定史跡である帆立貝形古墳の三吉石塚古墳、全長約200mの新木山古墳。巢山古墳と同様、情報発信等の連携ができていない。



国指定特別史跡「巢山古墳」



竹取物語発祥地「讃岐神社」



県指定史跡「三吉石塚古墳」



陵墓参考地「新木山古墳」

■ 2-3 安全・安心、健幸、子育て・教育、快適生活のまちづくり

◆ 防災体制

- ・ 地域防災計画で竹取公園と図書館は指定緊急避難場所に、図書館はさらに指定避難所とされている。

◆ 町道上田部・奥鳥井線とのアクセス

- ・ 町道上田部・奥鳥井線の通過車両から竹取公園が全く見えず、公園の存在に気づかない。また、地域とのふれあい交流のイメージが持てない。

◆ イベント等の開催施設

- ・ 町や商工会が主催する大きなイベントが年数回開催されるが、公園の立地を生かした、民間主催の交流イベントや、馬見丘陵公園のような季節のイベントが無い。

◆ 公園施設の老朽化

- ・ 開園後、約25年が経過し、遊具や園路は老朽化による損傷等が顕在化している。
- ・ トイレは和式であり、子どもや老人、幼児など誰もが使いやすいトイレではない。



巢山古墳西交差点



かぐや姫まつり



竹取公園（老朽化）

■2-3 安全・安心、健幸、子育て・教育、快適生活のまちづくり

◆ 来園者休憩施設や管理サービスレベル

- ・公園管理者として必要最低限の管理は行っているが、来園者を満足させるサービスの提供や新たな管理方法の検討はできていない。
- ・エレベーター棟に設けたピロティ一部分に菓子飲物の売店はあるが、飲食や休憩できるスペースが無い。
- ・雨風を一時的に凌げる施設や年少の子どもを遊ばせるスペースが無い。

◆ 花とせせらぎ広場

- ・貯留水を循環させていたが、水不足や感染性大腸菌O-157などの対応で停止している。

◆ 佐味田川（準用河川）

- ・竹取公園に隣接して流れているが、河川改修により親水性の無い護岸が整備されている。

◆ 佐味田川調整池（県管理の河川管理施設）

- ・繁茂した植物から花粉や種子が飛散することが問題となっており、都市内緑地としてのニーズは低下している。



竹取公園内の様子



町立図書館



佐味田川調整池

■2-4 利便性の高いまちづくり

◆ 近鉄田原本線の池部駅と箸尾駅からのアクセス

- ・池部駅は、馬見丘陵公園の緑道エリアにより接続しているが、竹取公園までの距離は約3 kmであり、箸尾駅から竹取公園までは約2.8 kmである。
- ・五位堂駅から竹取公園までは、自転車歩行者専用道路のかつらぎの道を経て、徒歩で約4 km弱である。

◆ 地域公共交通バス「広陵元気号」によるアクセス

- ・西部支線ルートに、図書館（竹取公園前）バス停がある。
- ・北東部支線ルートに、寺戸南口（馬見丘陵公園前）バス停がある。

◆ 自動車によるアクセス道路

- ・南北路線は、県道大和高田斑鳩線と県道河合大和高田線がある。
- ・東西路線は、町道上田部・奥鳥井線と町道笠・ハリサキ線がある。
- ・県道河合大和高田線は、当エリアから南側は、近鉄大和高田駅からのバス路線であるが、市街地区間は歩道が整備されていない狭隘な2車線道路である。

◆ 公園来場者用の駐車場（合計 約480台）

- ・馬見丘陵公園は、北エリア300台、中央エリア426台、南エリア96台の822台、竹取公園は約480台と、臨時駐車場は確保しているが、馬見丘陵公園、竹取公園のイベント時は、不足し空き待ちの渋滞が発生している。

◆ 広陵町立図書館（映画「天使のいる図書館」の舞台）

- ・竹取公園と隣接しているが、図書館駐車場を公園利用者が利用すると図書館利用者が利用できなくなるため、イベント開催時以外は公園への通り抜けを制限せざるを得ない状況である。



道路及び駐車場の現況



図書館駐車場

■2-4 利便性の高いまちづくり

◆ 近鉄大阪線の五位堂駅や大和高田駅からのアクセス

- ・五位堂駅からは馬見丘陵公園バス停まで、大和高田駅からは竹取公園東バス停まで、路線バスが運行されている。
- ・両路線の運行は、9時～16時まで1時間に1～2本。
- ・馬見丘陵公園バス停、竹取公園東バス停が離れており近鉄大阪線へのアクセスとして一体的に利用できない。
- ・竹取公園に直接乗降車できるバス停が無い。
- ・町内を走るコミュニティバスとの連携が弱い。



3. 住民ワークショップ等での検討

■3-1 住民ワークショップ、庁内検討会での意見

○ ワークショップのメンバー構成

地域住民、子育て支援関係のNPO代表、町議会議員、近隣の飲食店オーナー、地元区長・自治会長、文化財ガイド、古文化会、老人クラブ、体育協会、幼稚園教諭、保育士、農業塾卒業生、商工会等

- * ワークショップのテーマ
 - ・第1回：竹取公園周辺の良いところ、悪いところ
 - ・第2回：解決策からメインテーマを考えよう

○ 庁内検討会：町担当職員によるワークショップを開催（課題の整理と対応策の検討）

【ワークショップ・庁内検討会で出た意見】

竹取公園	アクセス	周辺施設	
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が砂利 ・中が見えにくい。 ・乳幼児が遊んだり休憩するスペースがない。 ・広場の周りに休憩所がほしい。 ・園内をバリアフリーにしてほしい。 ・既存設備の更新 ・周遊ルートの検討 ・広場に舞台やトイレがほしい。 ・マップの更新 ・wifi環境の整備 ・維持管理ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い。 ・外周道路が狭い。 ・公園前にバスが来ない。 ・ベビーカーが通りやすい、周辺歩道の整備 ・県道が狭い。 ・イベント時の混雑 ・周辺の周遊ルートを作ってほしい。 ・公園の出入り口の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設との連携 ・讃岐神社の活用 ・讃岐神社への里道整備 ・古墳の活用 ・給食センター・かぐやカフェとの連携でイベントなど実施検討 	
周辺整備	コミュニティ・イベント	防災	情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設がなくて寂しい感じがする。（飲食する場所や特産品） ・魅力のある物に欠ける。 ・メインスポットがない。 ・かぐや姫のアピールがない。 ・案内看板が少ない。 ・物販店舗が少ない。 ・夜が暗い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が交流できる仕掛けがない ・子育てを支援できるような施設がほしい。 ・町内・町外の方々が交流できるような場所がほしい。 ・親子イベントや子育てイベントがない。 ・四季のイベントを行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所としての活用検討が必要 ・マンホールトイレや防災かまどベンチの設置検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとかぐや姫のPRをしてほしい。 ・認知度を上げる。 ・かぐやちゃんを生かしたPR



第1回ワークショップの様子



第2回ワークショップの様子



フィールドワークの様子

4. 竹取公園周辺地区の課題抽出

4-1 竹取公園周辺地区の抱える問題

地域全体の抱える問題

- 商業施設、飲食店が少ない
- 地域の情報発信が弱い
- 靴下やイチゴなどの特産品の品質力が生かせていない
- かぐや姫発祥の地である紹介ができていない
- 各施設との連携（古墳、寺社仏閣、図書館等）がない
- 地域外、地域内交流が少ない
- ボランティアなどの協働推進が少ない

- 植物からの種子飛散が問題となっている調整池

- 災害時を想定した施設、大型車両等が進入できる道がない

竹取公園が抱える施設に関する問題

- 老朽化し、トイレ等の仕様が古い
- 民間や住民主体のイベントが少ない
- 公園管理が徹底できていない、最低限の管理のみ
- イベント時の駐車場の確保
- 雨風を凌ぐ施設がない
- 飲食や情報発信の施設がない

- 佐味田川の水辺空間の活用



馬見丘陵公園

- 駅や馬見丘陵公園からのアクセス方法が悪い

- 町道上田部・奥鳥井線の景観を損ねる街路樹

- 柵や樹木によって公園内の賑わいが感じれない

- 竹取公園までの直通バスがない

竹取公園
東バス停

- かぐや姫発祥の地である讃岐神社が活かしていない

- 県道河合大和高田線が狭い
- 歩道がない

- 公園の外周道路が狭い

竹取公園

巢山古墳

讃岐神社

図書館

給食センター

三吉石塚古墳

新木山古墳

	主要関連施設
	連携推進軸
	協定エリア
	エリアの課題

■4-2 重点プロジェクトから見た竹取公園周辺地区の課題抽出

町の活力の向上

- 商業施設、飲食店が少ないため、賑わいを生かす施設整備等が必要。
- 馬見丘陵公園や竹取公園への来園者に、広陵町の特産品の品質力を広陵ブランドとして情報発信することが必要
- 馬見丘陵公園外周の樹木が生長繁茂し、町道上田部・奥鳥井線から公園内の美しい景観が見えていない、また街路樹の桜は、台風による枝折れや腐敗により景観を損ねており、公園と一体となった景観形成が必要

歴史ロマンのまちづくり

- 巢山古墳は、国特別史跡に指定されている重要な観光資源であり、馬見丘陵公園や竹取公園との連携強化が必要
- 讃岐神社、三吉石塚古墳等の歴史的資源や図書館との連携が必要

安全・安心のまちづくり

- 竹取公園を防災拠点として活用するには、みんなの広場への大型車両の進入路や防災施設の整備が必要
- 竹取公園の外周道路が狭く、公園灯がある部分以外については薄暗く、安全性を高める取り組みが必要

健幸のまちづくり

- 公園管理はシルバー人材センターに委託、サービスや管理レベルの向上には、ボランティアによる花壇整備等の取組が必要
- 毎日いきいきと公園内や公園周辺を散歩できるような取り組みや整備が必要

子育て・教育のまちづくり

- 竹取公園は、開園から25年経過しており、遊具や園路等の老朽化対策が必要
- 竹取公園は、乳幼児など小さな子どもを遊ばせる施設や一時的な雨風を凌ぐ場所がないため、新たな施設整備が必要
- 竹取公園の西側に沿って流れている準用河川佐味田川について、水辺の活用ができる空間整備が必要

快適生活のまちづくり

- トイレ施設は仕様が古く利用しにくいいため、洋式化が必要
- 周辺や公園内に飲食できるスペースや休息できるスペースの確保が必要
- 佐味田川防災調整池は、都市内緑地としてのニーズが低下し、植物からの種子飛散が問題となっているため、多目的広場として活用方法の検討が必要

利便性の高いまちづくり

- 自動車によるアクセスが主であり、大きなイベント開催時には周辺道路で渋滞が発生するため、駐車場の確保が必要。
- バス路線は、竹取公園への直接アクセスがなく、バスによるアクセスの向上が必要
- 近鉄池部駅や近鉄箸尾駅、近鉄五位堂駅から離れているため、歩行者等のアクセス向上が必要
- 地区内の県道河合大和高田線には歩道の未整備区間があり、バス停や讃岐神社からの歩行者導線の確保が必要

その他

- 竹取公園は、讃岐神社のかぐや姫伝説にちなんで銘々されており、「かぐや姫」にまつわる情報発信や神社との連携が必要
- 地区内の巢山古墳や三吉石塚古墳等の歴史的資源や図書館との連携・情報発信が必要

5. 竹取公園周辺地区のまちづくりの基本方針

■5-1 竹取公園周辺地区の目指す姿(コンセプト)

「公園を核とした賑わいのまちづくり」

来園者に、地場産品のおみやげや農業体験など新たな楽しみを提供

巢山古墳

馬見古墳群最大級
ふさわしい案内体制
史跡ガイド

・三吉石塚古墳

讃岐神社

かぐや姫の夢物語
モニュメントや案内
サインの検討

防災機能の
充実

馬見丘陵公園

年間100万人の来園者
官民連携したソフトイベントの
開催

カフェ・レストラン

地場産品販売
民間活力の導入

ふれあい・もてなし空間

青空市・グルメイベント

バスセンター

公共交通活用

竹取公園

気軽に手作りイベントが開催でき
町内外の子どもから高齢者まで
地域や性別の隔てなく
集いふれあう空間づくり

産直市場 いちごハウス

苺狩り体験農園
地場産品販売

・給食センター

町立図書館

町内情報の発信
かぐやカフェとの
活用

・史跡等の周遊ルート整備
(ウォーキング&サイクリング)

■5-2 重点プロジェクトを踏まえたまちづくりの基本方針と主な取組

町の活力の向上

基本方針①「新たな賑わいの創出」

- ・来訪者が楽しめる新たな施設を整備するなど、新たな賑わいを創出

- ・特定農業振興ゾーン
観光農園・イチゴのブランド化
農産物販売所の設置
- ・商業産業施設の誘致
- ・町道上田部・奥鳥井線の沿道における景観整備 等

歴史ロマンのまちづくり

基本方針②「地域資源の活用」

- ・馬見丘陵公園、竹取公園と地域資源を連携するとともに、地区の魅力向上

- ・巢山古墳や讃岐神社の整備
- ・周遊ルート（歴史の道）の整備
馬見丘陵公園、竹取公園、周辺の地域資源である史跡等を巡る遊歩道、案内看板等の整備、案内体制の整備（讃岐神社や巢山古墳、三吉石塚古墳、新木山古墳）
- ・古墳めぐりツアー等の開催 等

安全・安心のまちづくり

健幸のまちづくり

子育て・教育のまちづくり

快適生活のまちづくり

基本方針③「竹取公園等の魅力向上」

- ・地域の集いふれあう空間として再整備、馬見丘陵公園との連携等による利活用の促進

- ・竹取公園
馬見丘陵公園と連携したイベント開催
民間活力によるカフェ、レストラン等の整備
花の彩りの展開（ボランティア活動の促進）
常設ステージ・音響設備の整備、防災機能の強化、遊具の設置、トイレの洋式化
- ・広陵町図書館
かぐやカフェの活用
- ・佐味田川（広陵町管理区間）
護岸整備・水辺の活用 等

利便性の高いまちづくり

基本方針④「アクセス環境の改善」

- ・駐車場（臨時含む）の増設、駐車場誘導の充実、多様な交通手段によるアクセス性の向上。

- ・バスターミナル、バス路線再編の検討
- ・駐車場の整備、駐車場の案内誘導の工夫
- ・調整池の多目的広場等としての活用検討
- ・公共交通の利用促進方策の検討
- ・移動支援方策の検討（電気自動車等）
馬見丘陵公園～竹取公園 等

その他（地域情報の発信）

基本方針⑤「地域情報の発信」

- ・馬見丘陵公園館、広陵町立図書館を拠点とした情報発信
特産品、イベント情報、古墳等の地域資源の紹介 等

■ 5-3 まちづくりの構想図～「公園を核とした賑わいのまちづくり」～

《基本構想図》

